

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453
E-Mail: npo-kts@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.32

平成31年冬号



新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 吉田 剛



新年あけましておめでとうございます。
皆様、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年初のご挨拶に災害お見舞いを申し上げることが増えて参りました。昨年7月の西日本豪雨では多くの被災者が広い範囲に発生しました。近年の災害頻発は産業発展のため、気候を変化させつつあることを実感させられるような事態となっており、国際社会共通の目標SDGs(持続可能な開発目標)が取上げられるようになりました。

これらの社会の動きに当法人も対応すべく、これまでに培った技術知見をもとに産業技術の高度化・省エネルギーへの取組を一層強化して行こうと願っています。また、超高齢化社会が始まっており、シニア中心の当法人としてはこれらの社会課題への貢献は自分事として待ったなしの状況であります。社会の中で、どう役に立ち、自らの生き甲斐を作り出して行くかが問われていると思います。

これらの課題にはIoT、AIを始めとする新技術も不可欠で、新技術への対応力が要請されています。また、関係先の事業所様では人手

不足の声を多く耳にしており、仕事の合理化や自動化の技術開発が必要とされています。ピンチはチャンスと捉え、関係機関と協力しながら開発のコーディネートを促進します。会員のチャレンジ精神を呼び覚まし、これらの問題に取り組んで行く所存です。

このような中で、今年は以下のような重点テーマを掲げ、地域の課題解決に取り組んでいきます。

- ① 既存のお客様からの仕事に加え新規受注業務の拡大
- ② 会員数の増加 (70人体制から80人体制へ)
- ③ 会員の能力拡大・相互連携の加速(新技術への対応)

当法人の活動は地域の関係機関・企業様のご支援の上に成り立っています。当法人をご活用いただき、共に成長する地域の技術コーディネートパワーとして、本年もご愛顧いただければ幸いです。

末筆ながら、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念してご挨拶とさせていただきます。

Topics.1 テクノフェア 及び 製造技術イノベーションのBM支援

「中小企業テクノフェアin九州」と「西日本製造技術イノベーション」のBM支援 副会長 藤原 利久理事

2018年は、(公財)北九州観光コンベンション協会主催のテクノフェア(10月開催)の10周年及び初めての製造技術イノベーション(6月開催)と2件のフェアのビジネスマッチング(BM)支援を行った記念すべき年となった。NPO法人北九州テクノサポート(KTS)のメンバーがテクノフェアで19名(過去最高)、製造技術イノベーションで18名、計37名が出展社に対し多くの地元企業を訪問、多くの来場社を誘致、面談・商談・見積・成約とKTS独自のBM支援を行った。



中小企業テクノフェアでは、出展社数70社及び面談・商談・見積・成約件数計551件等、共に過去最高となり、KTSが例年、金沢に出展企業誘致を行うが今年最高6社の誘致を行った。

ここ2年、地元企業が超多忙により、来場企業数が低下していたが、KTSメンバー19名が出展企業プレゼンテーション(過去最高20社)により企業を熟知した上で地元企業を訪問し、出展企業の説明や来場の要請を行い、来場社には各ブースで最善のBM支援を行った結

果、来場社数が上昇に転じ、面談・商談・見積・成約件数やその金額も過去最高になった。また、協会による出展社へのアンケートでは満足度も最高の評価を受けた。

西日本製造技術イノベーションへのBM支援は昨年からの要請を受け協会と多くの準備を行い、大・中堅の先端開発型企業35社(本州主体の企業)のBM支援を行った。大・中企業の支援は初めての経験だったが、テクノフェアの経験を活かし、面談・商談・見積・成約件数計334件は出展社数当たりではテクノフェア以上だった。協会アンケートでも出展社から非常に高い評価を受け、来年もBM支援の要請を受け、テクノフェアと共に年2回のBM支援に挑戦し、地域活性化にも貢献したい。



課題としては両BM支援での多忙とKTSメンバーの確保・実力アップがあり、今後、取り組んでいきたい。

協会の皆様にご協力をお願いし、心から御礼を申し上げます。

謹賀新年

平成三十一年 正月 理事・監事一同



2019

会長 吉田 剛
事務局長 小林 敏郎
副会長 藤原 利久、影山 隆雄、山本 倅暉
理事 石井 剛、江副 綾人、下城 紀雄、弟子丸 克彦
林 慶三郎、藤崎 正昭、松隈 斉、力武 知嗣
監事 石川 浩、重藤 将美



平成30年度 理事・監事一同

新年の挨拶

平成31年 新年の挨拶 北九州市産業経済局長 加茂野 秀一



新年あけましておめでとうございます。

今年は、いよいよ平成に次ぐ、新たな時代の幕開けを迎えます。次代を見据えたまちづくりを進めていく第一歩となる年でもあります。

北九州市は昨年、国から「SDGs(エスディージーズ)未来都市」に選定されました。SDGsとは、国連で採択された世界共通の2030年に向けた新たなまちづくりの目標であり、環境保全や経済成長、質の高い教育、健康と福祉など、幅広い分野で「持続可能な社会」を未来の世代に引き継ぐことを目指すものです。

本市では、今年もこのSDGs達成を目指す先進都市として、誰もが安心して暮らし、活力とにぎわいにあふれる、住みよいまちづくりを進めてまいります。

産業の面では、響灘地区での洋上風力発電関連産業の拠点化に向け、環境アセスメントなどの準備が着実に進んでいます。また昨年、国が新設した地方大学・地域産業創生交付金事業に本市のものづくり技術を活かしたロボットに関する提案が採択されました。引き続き、環境・エネルギー、ロボットなどのリーディング産業を、国や県と連携して振興していきます。

また、人手不足などの課題に直面する地元中小企業に対しては、多様な人材の就労促進やロボット導入などによる生産性向上、円滑な事業承継など、きめ細やかな支援を行ってまいります。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとって幸多く、また、大きく飛躍する一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

トヨタ自動車九州株式会社 パワートレーン本部 副本部長 荻田工場長・小倉工場長 川原 英司



新年あけましておめでとうございます。

トヨタ自動車九州(株)は、1991年に愛知県外ではじめてとなる車両生産工場として誕生しました。2005年にLEXUS専用ラインを増強するとともに、荻田工場ではエンジンの生産をスタートしました。更に2008年にはハイブリッド部品をつくる小倉工場を稼働させ、2016年に設計・開発と生産技術の両部門を集約したテクニカルセンターを立ち上げ、開発から生産技術、ユニット・車両生産をスルーで取り組むことができる体制を構築してきました。そしてこれまで、たゆまぬ技能研鑽を通じて最高品質にこだわったLEXUSをつくり込み、市場調査会社の評価で世界NO.1の称号を5度獲得しています。改めてこれまで支えていただきました地域の皆様はじめ多くの方々へ感謝申し上げます。

さて、私ども自動車産業を取り巻く環境は、100年に1度の大変革期を迎えているといわれており、同業のみならず、新たな業種の企業との競争に勝ち残っていかなければなりません。加えて関税の問題など、輸出向け車両の占める割合が高い当社に取りまして、政治的な不安定要素も重なり、大変厳しい状況が見込まれます。

このような厳しい状況だからこそ、トヨタ自動車九州の強みである「基幹ユニットから車両の一貫生産」や「品質のこだわり」を活かし現場力を高め、安全で安心して快適に運転できるクルマを1台でも多くお届けし、より豊かな生活の実現に貢献できるよう、九州の皆様と一緒にモノづくりを継続・発展していくため、果敢に挑戦を続けてまいります。

最後になりますが、今後とも北九州テクノサポートの皆様はじめ、地域の皆様のご指導・鞭撻をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

TOTO株式会社 代表取締役社長 喜多村 円



新年 あけましておめでとうございます。

2018年を振り返りますと、世界においては米中貿易摩擦の発生、IoTやAIの急速な進化など、変化の大きな1年でした。

そうした中、TOTOグループは新しい中期経営計画「TOTO WILL2022」のスタートを切りました。

短期的にみると、市場環境の変化や自然災害などの影響もありましたが、WILL2022に込めた「We Innovate Leading Lifestyles」(私たちは最上のライフスタイルを提案<革新>します)という強い意志を持ち、将来に向けた活動を着実に実施したことで、世界の国や地域でTOTOが「安心のブランド」として支持されつつある手応えを感じています。

国内では、昨年「あんしんリモデル戦略」を始動しました。リフォームされたお客様は、皆さま「もっと早くリフォームすればよかった」とおっしゃいます。これは、「不安だからできなかった」事実の裏返しです。お客様に寄り添い、TOTOがお手伝いすることで、「あんしん」してリフォームしていただきたい。これからも、北九州テクノサポートの品質向上と活性化を図るため、本気でやり抜くという強い覚悟をもち、この活動を継続していきます。

海外では、「ウォシュレットグローバル戦略」を推進しています。現在、ウォシュレットは世界中で市場が拡大しており、そのキレイと快適を実現するテクノロジーやデザインと機能の高度な融合が高く評価され、世界市場の多くでお客様に最も選ばれています。

これからも、お客様から、「やっぱりTOTOにしてよかった」「またTOTOにしたい」と思っただけのよう豊かで快適な生活文化の創造に挑戦し続け、世界中にTOTOファンを増やしてまいります。

会員の皆様も、北九州テクノサポートの技術・マーケティング支援活動を通じ、北九州を人と企業が集まる元気な街とするため、ご活躍されていることと存じます。これからも、北九州テクノサポートのネットワークを活かし、更なる発展と飛躍の1年になりますことを祈念いたします。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>
NPO-KTS通信Vol.32 広告1-2

TAIKO
大光炉材株式会社
REFRATORIES CO.,LTD.

経営理念【社是】
私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

MONOLITHIC REFRACTORY
FINE CERAMICS

大光炉材株式会社
本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<https://www.taiko-ref.com/>

福祉・医療器具のリーディングカンパニー

ARIZONO

株式会社 有菌製作所

当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

SGS UKAS

新春随想



平成31年 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央

新年明けまして、おめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対してご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願いたします。

さて、FAISは、設立以来、北九州学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機関と産業界のコーディネート機関として、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動してきました。

本年も、地域企業の優れた製品・技術の開発や販路開拓への支援、さらには伴走型の創業支援など、北九州市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の大きな柱である「北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」ための取り組みに邁進していきたいと考えています。

FAISは、多くのものづくり企業が存在する北九州地域の産業支援機関として、産学連携による研究開発や学術研究への支援に加え、地域企業の活性化や新産業の創出を推進するという大きな役割を担っています。昨年4月には、情報通信分野で強みを持つ公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センターと合併し、ロボット・IoTの活用等による地域企業への生産性向上に向けた支援を強化しています。また、生産現場にとどまらず、介護職場へのロボット等の導入・実証事業にも取り組んでいるところです。

北九州地域の産業の活性化には、豊富な専門知識や技術、そして経験を有した皆様のご協力が必要です。さらなるお力添えを賜りますよう、お願いたします。

最後になりますが、北九州テクノサポートの会員の皆様にとりまして、本年が良き年となりますことを心からお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社安川電機 代表取締役社長 小笠原 浩

謹んで新年のお喜びを申し上げます。



昨年は、年初から環境の緩やかな変化を感じていた中、私たち製造業を取り巻く経営環境は、中国でのスマートフォン関連の投資減速や米中貿易摩擦の影響を受けた年でした。ものづくりの現場は競争が激化する中で、非常に速いスピードで大きく変化しています。Industry4.0やIoT、AIが単なるコンセプトとして取り上げられていた状況から進歩し、少しずつ現場での具現が加速しています。弊社においても新たなソリューションコンセプトである「i³-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」がお客様にも徐々に受け入れられ、私たちのビジネスモデルが変化してきました。米中貿易摩擦、英国のEU離脱など、私たちではどうしようもない動きがある中で、ものづくりの現場の進化・成長において大きな方向の変化はありません。

2020年に黒崎の本社敷地内に安川テクノロジーセンタ(仮称)を新設するように準備を進めております。この安川テクノロジーセンタは、製品開発から生産を効率的に行うことを最大の目的とし、開発部門および生産技術部門の一部を集約することによって、開発から試作、そして生産ラインの構築までを一貫して取り組むことで、技術力、スピード、競争力を格段に向上させます。同時に、お客様との共同開発や産学連携を強化・実践するためのインフラを準備します。北部九州の産業発展に更に貢献出来ることを願っております。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2019年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。

■(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事 柏木康彦

新年明けましておめでとうございます。



昨年6月より中溝に代わり当協会専務理事を務めております柏木です。

NPO法人北九州テクノサポート(以下、KTS)のコーディネーターの皆様には、6月開催の西日本製造技術イノベーションと10月開催の中小企業テクノフェア九州の中での企画でありますビジネスマッチングを初めとして色々とお力をお貸し頂き、大変感謝を申し上げます。このビジネスマッチングに関しては、中小企業テクノフェアで10年の実績を積み、昨年より西日本製造技術イノベーションに拡大して頂きました。会期の5か月前にキックオフを行い、会期までの間の東奔西走の活動を経て、会期中にコーディネーターの皆様が会場でのマッチングを行っている姿は、他の展示会では目にする事の無い特徴のある事業で、毎回全力で取り組んで頂き、両展示会の欠くことのできない企画としてコラボレーションを益々強めて頂いております。

当協会の目的について、定款の中で「内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興…もって北九州地域を中心とするわが国経済の健全な発展と、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的とする。」と定めています。KTSのコーディネーターの皆様が出展社の技術サービスの特徴を捉え理解することから始まるビジネスマッチングにおいて、優秀な技術製品を最適な相手に紹介し、北九州地域の発展に寄与するべく展示会期間中に行って頂く「橋渡し」と「すり合わせ」は、まさしく当協会の目的に合致するものと考えております。

これからもKTSの皆様を引き続きのご支援を賜りながら共に発展することを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.32 広告3-4



エコアクション21
認証登録番号
0008225



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

(新商品) 高温環境対応型LED照明

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

新商品、高温環境対応型LED照明は、製鐵所、鋳造工場、電気炉などでご使用いただける照明器具です。

<開発の課題> LED素子の温度管理、LED電源装置の温度管理
<解決方法> LED素子数を従来製品の約2倍にし、出力を低く抑えることで、LEDの発熱を抑えた。LED電源とLED照明器具の配線距離を最大50mまで可能にし、高湿な天井から離れた場所に置くことで寿命短縮を軽減した。



80℃の高温環境に対応!

〒800-0315 福岡県京都市都賀町港町8-11

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

http://www.kosei-japan.com



すなわに謙虚に無限の未来をひらいていこう

株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にエコアクション21を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小河原 悟
◆本社・工場: 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



新春随想



平成31年 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 末廣 利範

新年明けましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆さまには、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年10月、県では公益財団法人JKAが交付する補助金を活用して、八幡西区の工業技術センター機械電子研究所にマルチ樹脂材料3Dプリンタ「Fortus450mc」を新たに導入しました。このプリンタは耐熱性や耐衝撃性、生体適合性、食品接触認証、耐薬品性などの面で優れた特性を持つ熱可塑性プラスチックを使用し、コンセプトモデルから機能プロトタイプ、製造ツール、最終製品の造形に対応可能です。自動車、航空宇宙、電子機器、産業機械などの幅広

い業種で活用できますので、皆さまにおかれまして是非御活用いただけますようお願いいたします。

わが国の経済は緩やかに回復していますが、本県のものづくり中小企業を取り巻く環境は、人材確保の困難、国内市場の縮小、グローバル競争の激化など、依然として厳しい状況にあります。

県としましては、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打開できる多様で活力ある自立したものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

新年が皆さまにとってすばらしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 尾家 祐二



新年あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの会員の皆様には、平素から本学の産学連携における技術相談・企業とのマッチング等にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学は、明治42(1909)年に明治専門学校として開校以来、今年5月で創立110周年を迎えます。本学の「技術に堪能なる士君子」の養成の基本理念をもとに、更なる教育研究活動に尽力してまいります。

昨年は、本学の産学連携を推進するための組織であるイノベーション推進機構を見直し、さらなる産学連携の推進及び国際的研究拠点の形成を目指すため、組織内にグローバル産学連携センターを設置するなどの改組を実施しました。本学と海外の研究教育機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、海外における中核的な研究交流拠点の構築を進めていきたいと考えております。

また、北九州市が提案しました内閣府の地方大学・地域産業創生交付金に採択され、本学の強みであるロボット分野を活かし、北九州市・北九州産業学術推進機構のご支援のもと、安川電機様と共同で革新的なロボットの開発・事業化を加速させるとともに、研究開発を通して高度なロボット開発人材を輩出し、若手研究者の人材育成に推進してまいります。

本年も高い社会的価値を備えた教育研究活動に取り組み、新たな価値の創造を目指した活動を行ってまいります。最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げますとともに、よき年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

北九州市立大学

理事・副学長 梶原 昭博



新年おめでとうございます。

一昨年の九州北部豪雨に続き、昨年また西日本を中心とした集中豪雨や記録的猛暑など異常気象が多い1年でした。昨年、何度か東峰村から朝倉までの被災地域を見て回る機会がありましたが一瞬のうちに山が崩れ、集落が流される自然の脅威と1年経っても時間が止まったように復旧が進んでいない現実を痛感しています。数十年に一度と言う異常気象が続いて起こるようであれば、決して異常ではなく、起こるべくして起こっていると考え、自然災害が都市型災害に波及しないような対策が必要です。

さてIT技術の発展は様々な分野に広がりがつつあります。これまで2度にわたりAI(人工知能)ブームが起こりましたが、3度目のAIは社会を変える力を持っています。私自身もこれまで実証できなかった研究がうまく開発に移行し、AIの将来性を身近に感じている技術者の一人です。特に我が国は、少子高齢化に伴う人口減少や地方の過疎化、社会インフラの老朽化など多くの課題を抱えており、これらを解決するためにもAIを中心としたIT技術の利活用は重要です。しかし、これまでのように先進的な事例だけが先行して現実的な取り組みについての理解が追いつかないようであれば再びブームで終わるかもしれません。

そこで本学では、文部科学省の情報技術人材の育成拠点形成事業の採択を受け、本年4月から社会人向けのAI・ロボット・IoTなどIT技術に関する短期修得プログラムを開設します。このプログラムは、体系的な講義・演習を通して新しいIT技術を身につける実践的なカリキュラムで、地元企業からの積極的な受講を期待しています。

最後になりましたが、今後ともNPO法人北九州テクノサポートの皆様のご協力とご支援を宜しく申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.32 広告5-6

気象システムとIoTを駆使したソリューションシステムを提案致します！

高性能・高機能 新波浪予測情報提供システム
国土交通省「NETIS」登録商品【登録番号 GSK-140001】

- 「羅針盤」専用の予測解析システムを開発！
1kmメッシュ毎に、最長10先まで予測！
- 最大20地点登録、充実した印刷機能！
登録した地点の予測はすぐに閲覧、印刷が可能！

小型波高観測装置
国土交通省「NETIS」登録商品【登録番号 GSK-140001】

- 加速度センサー、ジャイロセンサー搭載により
あらゆる動きを検知するブイ式波高計！
- 観測データはリアルタイムに閲覧可能、
警戒値超過の場合はメール通知！

自然災害防災システム
「ZEROSAI」
国土交通省「NETIS」登録商品【登録番号 QS-150021】

今の情報を 知る「観測」
自社開発の気象観測機器

これからの情報を 知る「予測」
500mメッシュ毎の、ピンポイント予測

全員に伝える「報知」
基準値超過の場合はメール通知、
電光掲示板(音と光)で危険を周知

この3つを踏まえたシステムで、
安全・安心・防災に繋がるソリューションを
ご提案致します！

気象庁予報業務許可 第51号
国土交通省「NETIS」登録商品
北九州市小倉南区権力新町2丁目8番11号
TEL(093)965-1033 FAX(093)965-1055
E-mail: info@sysmet.co.jp URL: http://www.sysmet.co.jp

北九州市小倉東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
http://www.chikusa.co.jp

北九州地域産業人材育成フォーラムは、平成23年度以来、北九州地域の中堅・中小企業と地元理系大学による「地域連携型インターンシップ事業」を地域ぐるみで実施してきた。この事業の目的は、インターンシップ(以下、IS)を通じて学生の社会人基礎力の育成し、さらに企業の雇用環境の改善を図ることにある。地元企業の認知と理解が進み、ISに参加した学生の地元中小企業への就職率は、全体の2倍を超える成果を挙げて来た。

しかし近年、首都圏や関西圏の大企業を中心に新卒採用におけるISの重要性が認識され、積極的にISを実施する企業が増加していることから、地域の中堅・中小企業が実施するISへ参加する学生が減少しはじめている問題が出ている。これを解決して地元の企業に就職する新卒者を増やし、地域の活性化につなげるためには、北九州地域産業人材育成フォーラムに結集する行政、大学・高専、企業、北九州テクノサポートの関係者の一層の協力が求められる。このため、今年度から北九州地域産業人材育成フォーラムの企業会員を募集しているが、目標の200社に対して平成30年11月末での登録企業は

50社に留まっている状況である。

北九州地域の「地域連携型IS事業」は、地元の九州工業大学、北九州市立大学、西日本工業大学、早稲田大学大学院と北九州工業高等専門学校を対象として実習期間1~2週間の短期研修型が中心であるが、今年度から産業医科大学も加わっている。将来の産業界を担う若者の育成という視点で見れば、変化が激しく不確実性の高い社会においては、社会人基礎力やリーダーシップなどの汎用的な能力、加えて、自らのキャリアを自律的に切り拓く能力がますます重要になっている。また、第4次産業革命が進行するなかIoTやAIなど新しいICT技術に対応するため、ISを通じて学生の力を活用するニーズも高まっている。このような企業の要望に応えるため、平成29年度から長期ISが始まっている。北九州地域では、北九州テクノサポート(KTS)のコーディネーター(CD)が地域におけるネットワークを活かして大学・高専と中堅・中小企業の間きめ細かな調整役を果たしていることが、他地域には無い特徴となっている。

■エコアクション21地域事務局福岡の活動状況■

事務局長 弟子丸克彦

エコアクション21については、次のようにいろいろの行事が行われています。

- (1) エコアクション21ガイドライン2017年版の改定に伴い建設事業者向け及び食品関連事業者向けガイドラインが環境省から公布されました。事業者説明会は、H31年2月~5月に実施する予定です。
- (2) 第13回全国交流研修大会が中央事務局及びEA21地域事務局東京中央主催により東京で行われ、450人を超える参加(審査人及び地域事務局員)があり、活況を呈しました。当地域事務局からは2名が参加しました。
- (3) 10年以上の長年にわたりエコアクション21に取り組んでこられた全事業者に対し、中央事務局から感謝状と記念品とが贈呈されました。当地域事務局扱い事業者は16社が贈呈対象となりました。
- (4) 認証取得事業者に対するフォローアップセミナーを北九州市が主催し、11月16日(コムシティ(八幡西生涯学習センター))にて開催、33事業者が参加し活況を呈しました。そのほか福岡市、佐賀市では共催します。相互研修・交流の成果を挙げるのが目的です。

- (5) 北九州市長感謝状授与制度は7年目を迎え、今年度は光進工業(株)、鶴丸海運(株)、マルソー産業(株)の3社が「環境にやさしい取り組みを行い成果をあげている事業者」としてエコテクノ2018展示場で感謝状及び記念品が授与されました。



- (6) 認証・登録事業者は全国でおよそ8,000社となり、当地域事務局福岡では約260社を御世話しています。

地球環境保全のためには中小企業の皆様がエコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となってきています。一社でも多くエコアクション21の認証を取得されますようお願いいたします。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.32 広告7-10

環境づくりに心をこめて
株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の橋システムの推進
◆社会貢献

事業品目
きのこファーム・造園工事・環境事業

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL <http://www.morizou.info/>

株式会社リョーフ
<http://www.e-ryowa.com/>

TEL / 093-436-0113

ベテラン目視検査員の暗黙知を認識に!

従来の画像処理で出来なかったことが可能に!

僅か30枚の良品画像で機械学習できる
画期的なAI外観検査システム

株式会社ニシテイ
Power Resistors
Power Quality Products
Robot Peripherals

新たなステージへ
さらなるステップアップを実現します

株式会社ニシテイ
本社工場 北九州市八幡西区虹梅2丁目1番1号
〒806-0011 電話:093-631-4131(代) FAX:041-0763
東京営業所 東京都中央区新富町1-10-10 電話:03-5561-0201
大阪営業所 大阪府東淀川区西宮南1-2-3 電話:06-6394-5519

公益財団法人 北九州活性化協議会
TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636
<http://www.kpee.or.jp/jinza/>

KPECの主な活動

- もったいない総研
真にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!
- 産業人材育成
北九州地域の中堅・中小企業と地元理系大学を繋ぎ、地域ぐるみの産業人材育成
- 小学校応援
子どもの教育を企業も一緒に、積極的に応援します
- 1000人の夢資金
北九州を志す若者、このまちの心豊かな未来を一緒に育んでませんか?
- 北九州イノベーションキャリア
技術とデザインを融合させ、数々のイノベーションを成し遂げた北九州の先人達の知の遺産
- まちづくり推進事業
市民・団体・大学・行政機関等の連携種として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています

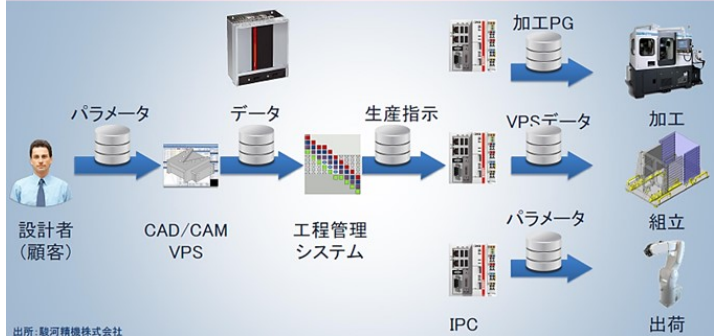
第4次産業革命という地殻変動の中、企業が生き残るためにはデジタルトランスフォーメーション(DX)が避けられない条件であり、我が国でも大企業を中心に最高デジタル責任者(CDO=Chief Digital Officer)のポストを設けて取組みが始まっている。しかし、DXとは、「デジタル」によってビジネスの構造を変える「トランスフォーメーション(変革)」を引き起こすことであるが、平成30年12月11日に経済同友会が発表した日本のデジタル化を促す提言によれば、「世界と比べてデジタルの活用が3周遅れている」と強い危機感を示している。これは、戦後の復興そして高度成長を遂げた日本では、何となく現状に満足している個人が多く、時計の針が止まったままデジタル技術に遅れをとっているとの認識による。一方、米国や中国の人工知能(AI)やサイバーフィジカルシステム(CPS)など技術の進化は目覚ましく、標準化の覇権と差別化を競う社会が到来しようとしている。人口減で日本の市場が縮むなか、海外で稼いでくれるのが経営者の役目であり、これからの経営者は長期的視点でDXに取組むことが重要である。

KTS主催の「第4次産業革命」勉強会では、我が国における先進的DXの事例として取り上げた駿河精機株式会社のCPSは、受注から出荷までの工程をすべてデジタル化することによって、リードタイムを約

1/20に短縮することに成功し、収益も年率30%の伸長を示す成果に結びついていることを学んだ。

駿河CPS:注文を最終工程までデジタルで一気通貫

BECKHOFF



出所:駿河精機株式会社

出典:BECKHOFFジャパン社長 川野俊允氏「中小企業における萌芽事例:駿河精機」九州経済産業局IoT・第4次産業革命実証ラボ検討会資料(2017)

■KTSの「ものづくり企業」支援実績例 ～～ 企業様のお困りごとの「駆け込み寺」としてご利用ください! ～～

- 1.「ものづくり」公的資金の活用と応募支援
- 2.「テクノフェア」等ビジネス・マッチング支援
- 3.「大学・高専インターンシップ」受入企業開拓
- 4.「環境・省エネ支援事業」の推進
- 5.「ものづくり企業」等の技術・開発・改善提案
- 6.「マネジメントシステム」構築・維持改善、認証取得支援 等々

KTS会員情報交換会

◆◆◆◆ H30年の報告 ◆◆◆◆

会員相互連絡会推進チーム 吉田 剛

KTSは多様なキャリア人材が社会貢献を果たすべく集まった集団である。キャリアや年齢も多様で特に新入会員については馴染みも薄く、お互いを知り協力しあって様々な支援活動を進める必要があるが、これまで十分には出来ていなかった。4年前から年末理事会時に新入会員にPR自己紹介をお願いしたが、幅広く全会員を対象に情報交換の場を設けようとしてH30年から相互情報交換会と称して、KTSの結束と事業活動を活性化するためのグループ活動の状況や新入会者の自己紹介・PRを始めた。本会は3か月に1回程度の会合として、初回:2月10日、第2回:5月13日、第3回:8月22日、第4回:11月28日に開催した。場所は黒崎コムシティ内の生涯学習センターの会議室を利用している。参加者は15～25名で、主な内容はKTS各グループの活動紹介(九工大へ

の企業ニーズの発掘状況、販売支援グループの活動「イノベーション展・テクノフェアの成果」、産学官連携グループの活動、インターンシップの活動、ISO・EA21支援グループの活動、環境・省エネグループの活動)、また、会員からの技術紹介、会員の事務所事業紹介、新・現会員の自己技術PR等の相互交流として新入会員自己紹介(第1回:日下,増本,井上,久富,吉田(将) 第2回:有田,姫野,荒巻,岩本 第3回:井ノ口,納富,川野 第4回:坂田,小長)(敬称略)や、賛助会員にも参加いただき、KTSが協力している事業の現状等を紹介いただいた。終了後は有志が近場のレストランでビールを傾けながら2時間程度の懇親会を開き、会では言えなかった本音を語り合う等、和気あいあいとした活動を続けている。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.32 広告11-14

安全で持続可能な社会のための戦略・システム・ソリューションを提供

株式会社 エステック21

Wエコ

工場の環境負荷低減(エコロジー)や、トータルコストダウン(エコノミー)を提案

軽くて耐久性抜群! わずか0.1mm 高性能遮熱シート

僅か0.1mm 95℃のやかんが28℃に!!

オンリーワン、ベストワン製品の普及促進を、技術・事業面から支援します。

油を劣化させない 工業用オイル 高性能濾過装置

〒811-4343 福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX: 093-293-6431 E-mail: info@s-tech21.biz URL: http://www.s-tech21.biz/

未来型コミュニティは、WIN-WINの法則から創造される!

Awin Eco環境総合研究所

一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所は、今後の日本における「コンパクト・シティ」化に伴う経済社会に対応するための活動を行っています。

未来型マーケティング&ビジネスコミュニティの構築

未来型ビジネスモデルの構築&起業支援

企業及び各種団体のコンサルタント支援&教育支援

お問い合わせは、一般社団法人 A.Win Eco環境総合研究所 事務局まで
〒800-0352 福岡県京都郡苅田町富久町1-22-23 TEL093-435-0558 FAX093-435-0555
会員登録中

「A」=ALL(すべて)とWin=(勝利)です。皆様とWin-Winの関係になるようお願いを込めた法人名です。

Matsushima Measure Tech



計る×技術で世界に向けて

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL http://www.matsushima-m-tech.com
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 祥嗣

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: http://www.uchidanet.co.jp



NPO法人北九州テクノサポートの活動紹介

■技術経営ものづくり支援Gr.の活動

Gr.長 吉田 剛

昨年から新体制で活動を開始した。KTS所属の九工大産学連携コーディネーター活動と連携しながら、企業のテーマ内容に合わせた提案を進めている。その1つは企業の技術開発・改善テーマのうち現場指導的なKTSの専門家活用が望ましい案件は、KTS専門家を紹介し指導する。高度な専門技術を要するものについては九工大研究者から適任の先生を探して共同研究等に結びつける。もう一方は、九工大よりKTS委託業務として企業ニーズを聞き、技術相談や共同研究の提案をってもらう事業である。双方の取組成果として、KTSメンバーの企業への支援実施事例が1件、対応を検討した案件が2件あった。また、KTSから九工大へ提案があった9件の技術相談のうち2件は共同研究へと進み1件は進行中。新年度は本活動を更に活性化すると共に、他の活動グループとの連携を強化し、実績を増やせるよう努力したい。

■販路開拓ビジネス支援Gr.の活動

Gr.長 藤原 利久

2018年はKTS・BM支援にとって記念すべき年でした。(Page1 参照)
(公財)北九州観光コンベンション協会主催の「中小企業テクノフェアin九州(10月)」は10周年を迎え、新たに大・中堅企業主体の「製造技術イノベーション(6月)」を加え二つのBM支援を行った。
出展社は70社・35社、計105社に対し、地元ものづくり大中堅OB企業の技術経験者や専門資格者集団のコーディネーター延べ37名は、地元企業が超多忙にも拘らず、計368社を訪問、来場企業214社を誘致し、面談・商談・見積・成約件数計885件及び交渉金額も最高に近い実績であり、出展社・協会・地域に貢献できたと思う。課題は年2回の多忙の克服・協働とコーディネーターのBM支援の向上と伝承である。
本年は二つのBM支援の協働により出展企業と地元企業との橋渡しを強化したい。協会の絶大なご協力に心から感謝致します。

■産学官連携人材・育成支援Gr.の活動

Gr.長 影山 隆雄

- (1)高度産業人材育成支援事業：地域連携インターンシップ事業は、地域の5大学(九工大、北九大、西工大、早大、産医大)と北九高専を対象に卒業生の地元企業への就職率向上を目指している。KTS会員は、知見とノウハウを発揮して学生受入企業の開拓と学生と企業のマッチング等を担当している。
- (2)九州工業大学産学連携コーディネーター事業：企業の持つ資源には限りがあることから、大学の持つ人材や研究成果、ノウハウをうまく活用し、技術力や競争力を高めるため、KTS会員が相談受付を行っている。
- (3)「第4次産業革命」勉強会活動：第4次産業革命は、IoTやAI、サイバーフィジカルシステム(CPS)など高度なICT技術によって生産性向上と顧客価値創造を目指すものです。会員だけでなく行政や中小企業の皆様の自己研鑽の場を2016年1月に立ち上げてから3年間にわたり隔月開催で継続している。

■ISO・EA21支援Gr.の活動

Gr.長 松隈 斉

ISO9001及び14001の2015年改訂に伴う認証取得組織へのコンサル支援は一切切りついた感がある。
一方、環境省が主導しているEA21のガイドラインは、ISOの2015年版に合わせる形で新たな要求事項を追加して、2017年4月に改訂版が発行されたが、これに対するEA21中央事務局の対応は遅れ気味になっている。
認証取得数が最も多い建設業者向けのガイドラインの発行は2018年9月になり、審査員への説明会が行われたのは12月になってからであった。
当支援グループではこの説明会后にグループ研修会を行い、改訂内容のポイント及び認証取得組織への指導方法等を確認し合った。
当グループには最近、数人の新しい会員も加わり、EA21の審査員資格を取るための準備をしている。

■環境・省エネ支援Gr.の活動

Gr.長 石井 剛

- (1)環境助成事業：北九州テクノサポートは北九州市、福岡県、地球環境基金・大企業の環境支援財団の環境助成の事業の中で大気・水・土壌等の自然環境の浄化、自然エネルギーの有効活用、環境の保護・保全、リサイクル、地域の活性化、社会福祉の向上等で当NPOが技術的な調査・分析・開発・実践を行うため、官民の助成事業に積極的に応募して他の団体と協働して成果をあげたい。なおこれまで6件提案も採用に至らず難関。其処で今後、他のNPOや大学等と協働し、現地内容を十分理解して応募したい。
- (2)省エネ支援事業：省エネセンター等からの依頼業務への対応として昨年度並み省エネ診断やエネルギー管理指導を行う。エコ診断ネットワークへの対応も従来同様に実施する。今年もイノベーション展示会、テクノフェア等で出展企業の省エネ型商品のPR等を通じ、地元企業へPR/商談へ結び付けたい。活動を進める。その中で省エネ補助金制度等を活用した地元企業へ省エネ設備導入への支援を実施したい。

■IT活用支援Gr.の活動

Gr.長 影山 隆雄

- (1)EXCELベースの会計システムの統合化による入力工数削減：今年度は、NPO法人の会計処理用として2003年の設立当時に会員が開発したEXCELベースの会計システムを長年に亘り使用してきたが、システムを構成する15本のプログラム毎に手入力が必要であった。これを統合化したソフト導入によって入力工数が約1/10と大幅に削減できた。
- (2)KTS他グループのEXCELデータ集計支援：産学連携人材育成支援Gr.の業務月報とそれに基づく謝金配分や販路開拓ビジネス支援Gr.の展示会におけるビジネスマッチング活動の実績集計とそれに基づく謝金配分の支援を行っている。
- (3)中小企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)導入支援：2019年度は、我が国でも大企業を中心に導入が進むDXの波が、中小企業にも押し寄せて来ると見込まれている。KTSは、「第4次産業革命」勉強会で培った知識をベースに中小企業の高度ICT導入支援を計画する。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

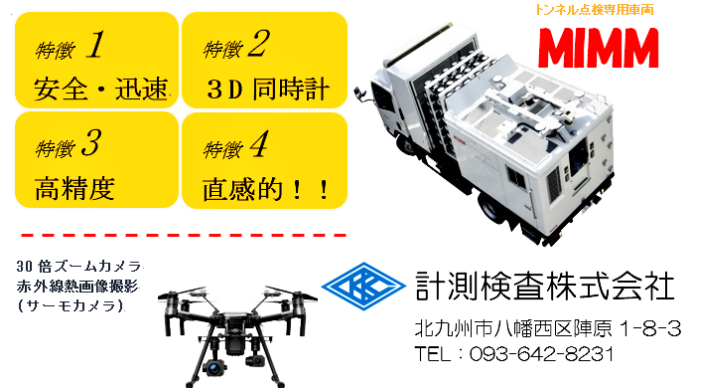
< 製品、技術、開発、人材などに関するPR ← 募集中 >
NPO-KTS通信Vol.32 広告15-18



微美 創造企業
MEMS SOLUTION 【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。
これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。

株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みへの けいじ)
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com



特徴1 安全・迅速
特徴2 3D同時計
特徴3 高精度
特徴4 直感的!!

30倍ズームカメラ
赤外線熱画像撮影
(サーモカメラ)

計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL : 093-642-8231



建造物に美を添える”研磨”という芸術

東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

NPO 法人北九州テクノサポートさまよりご協力いただいています
展示会でビジネスマッチングしませんか?

西日本製造技術イノベーション2019
2019年 6/19(水) ▶ 21(金)
詳しくは Web で!

中小企業テクノフェア in 九州 2019
2019年 10/9(水) ▶ 11(金)
詳しくは Web で!

西日本製造技術 検索
中小企業テクノ 検索

主催: 公益 北九州観光コンベンション協会 会場: 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-8-1
Kitakyushu Convention & Visitors Association TEL:093-511-6800 FAX:093-521-8845

西日本総合展示場 新館

株式会社 マツシマ メジャテック

平成30年初冬、同社の本社工場を訪問、1月に取締役 副社長に就任された池田憲俊様から、創業72年を迎えてスタートしている中期3年計画「次世代に備える風土を創造する」の取組みを中心に伺いました。(影山・林理事)

■会社の沿革と業況

昭和21年1月に、創業者・松島秀雄氏が「松島機械研究所」を創業して68年目の平成26年に電子機器による計測分野の製品が多くなったのを機に、社名を「マツシマメジャテック」に変更しました。この社名変更により、海外のお客様を含めて広く業務内容をご理解頂けることになったと共に困難な計測ニーズへの応える社内体制の変革に繋がっています。

松島 徹社長は、本年度からスタートする中期目標として①商品のIoT化を考えて実践する、②新規市場の開拓に全知全霊を傾注する、③働き方の改革を実践する、の3項目を掲げました。背景として労働人口の減少に伴い、生産効率の向上が求められている点があります。

営業と総務、品質保証を担当する池田副社長は、多機能の人協働ロボットの導入による生産性向上を図ると共に、新たに時差出勤制度の導入を図るなどにより働きやすい職場実現に向けた取組みを進めています。

■今後の展開

中期計画の②の項目につながることで、多様化・高度化するニーズに効率よく応えるため、自社が保有する先進的計測技術をコアにしてお客様とのオープンイノベーションを推進することにより新商品の開発を多面的に実施しています。

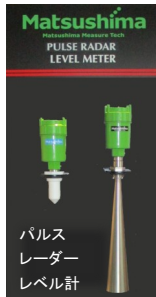
また、①の項目では、我々の計測技術を用いて「現場の見える化」を行うことで、お客様が求められている情報を提供できるシステム商品を増やす計画です。

■KTSへの期待

KTSが主催する「第4次産業革命勉強会」には、引き続き参加させていただき、商品のIoT化と生産性向上の糧として行きます。



本社・工場全景



パルスレーダーレベル計

株式会社 千草

平成30年初冬、創業1914年の老舗として地元の発展を支えられている同社千草ホテルに小嶋社長と青木相談役を訪問し、経営の現状と将来像を伺いました。(吉田・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は、八幡製鉄所創業間もない1914年(大正3)に料亭千草を始めたのが始まりで社会のニーズ変化に合わせて旅館、都市型ホテルへと進化し、2014年に創業100年を迎え、更に進化を続けている。創業以来、時代のニーズを先取りする形で業態を進化させてきたが、その姿勢は一貫している。北九州市内に拠点を置き、食分野へのこだわりを持って地域のお客様へ、そして北九州を訪れるお客様へ最高のおもてなしを提供するビジネスである。現在、コア施設のホテル(本社所在地)、そして結婚式場としてマリコレ(東田)、アグラス(鞆ヶ谷)を有し、貸衣裳、美容、装花、写真及び映像など総合的なプライダル事業を外部の協力者を得ながら運営されている。“アニバーサリーデザインカンパニー”として、新事業創出や社会的課題である環境負荷低減のため、自社内の生ごみ完全リサイクル達成などに著しい成果をあげられ、この11月にエコアクション21認証10年表彰を授与されており、その成果を事例発表されるなどホテル・サービス業界のトップランナーとして高い実績を挙げられている。

小嶋社長



本社・千草ホテル



鞆ヶ谷ガーデン アグラス

■今後の展開

記念日を最高のものにするお手伝いや地元のお客様のお祝い事、法事等において非日常の心に残るイベントを提供する。“アニバーサリー”をキーワードに貢献する。そのために“卓越した食の提供”、“おもてなし品質・サービス品質の向上”を目指し、OJTは無条件のこと、外部専門機関での研修・資格取得や



ウェディングレセプション

ラーニングを含めた教育にも力を入れ、全社員で質向上に努めている。このように北九州への愛着を持って事業を展開する中で、近年増加している海外のお客様のためHP英語サイトのアジア圏多言語化も進めている。本市は観光都市として良好な観光資源に恵まれ、近年世界遺産地域指定、北九州空港新路線就航、スペースワールド跡地のアウトレット開発計画などを追い風としてインバウンド宿泊や立寄りのお客様への“おもてなし”に気を配り満足度を高めていきたい。経営中の新しくなった“市立美術館のレストランの雰囲気が良い”、といわれる創業第4代目社長は、柔らかな物腰で「これからも地域に根ざした展開を図る」との熱い思いを語られた。

■KTSへの期待

エコアクション21のサポートに加え、ものづくり企業の浮揚が我が社のビジネスにとっても重要であり、地場企業支援の更なる活発化をお願いしたい。

◇ 株式会社 マツシマ メジャテック

- 所在地:(本社)北九州市八幡西区則松東1丁目8-18 TEL:093-691-3731
- 代表者:代表取締役社長 松島 徹 ■創立:1946年4月23日
- 資本金:3,500万円 ■従業員数:125名
- 事業:(主要製品)粉体・液体用レベル計、ベルトコンベア保護機器、電動式アクチュエーター、各種制御用機器、システム装置、環境センサー
URL <http://www.matsushima-m-tech.com>

◇ 株式会社 千草

- 所在地:(本社)北九州市八幡東区西本町1丁目1番1号 TEL:093-671-1131
- 代表者:代表取締役社長 小嶋 亮 ■創立:1941年1月
- 資本金:5,000万円 ■従業員数:140名
- 事業:ホテル、結婚式場、レストラン、貸衣裳
URL <http://www.chigusa.co.jp>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからは本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
- (個人)入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口

編集後記



北九州テクノサポート通信(年2回の定期発行、約2千部)は今回で32号となりました。今回号を含めバックナンバーは全てホームページに掲載していますので併せてご覧下さい。産学官民の皆様方、会員各位に喜んで頂ける広報誌を目指して編集委員はもとより 新規入会を含む会員各位にも広くご参加を仰ぎながら紙面の充実化を図って参ります。

紙面充実化方策の一環として、皆様方に本冊子への「折り込み」でアンケートへのご協力をお願いしております。是非、忌憚のないご意見・ご要望などをお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。(編集委員一同)

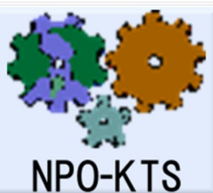
《詳細情報は下記ホームページから》

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。

技術開発・環境経営の発展を支援します。



NPO法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信Vol.32」

平成31年(2019年)1月15日 発行

編集・発行:NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室